



第2次沖縄県立図書館運営方針

(令和8年度～令和12年度)



令和8年3月

目次(第2次沖縄県立図書館運営方針)

概要.....	2
【目標1】県民に開かれた知の拠点.....	3
《施策1》県民が主体的に集い・交流・創造する「場」づくり.....	3
《施策2》読書バリアフリーの充実.....	4
《施策3》多文化共生を支える図書館づくり.....	5
《施策4》利用者サービス満足度の向上.....	5
《施策5》広報、情報の継続した発信.....	5
【目標2】琉球・沖縄関係資料の中核的図書館.....	6
《施策6》郷土資料の網羅的収集.....	7
《施策7》郷土資料の適切な整理・保存.....	7
《施策8》郷土資料にかかる情報発信.....	8
《施策9》琉球・沖縄関係レファレンス(調査・相談)機能の充実.....	9
【目標3】地域の未来を拓く図書館.....	10
《施策10》ライフステージに応じた課題解決サポートの充実.....	10
《施策11》ビジネス支援の推進.....	10
《施策12》レファレンス(調査・相談)(一般・子ども向け)機能の充実.....	11
《施策13》子どもの読書活動の推進.....	11
《施策14》行政機関、各種団体等の連携.....	12
【目標4】県域の中心となる広域型図書館.....	13
《施策15》遠隔利用サービスの充実.....	13
《施策16》県内公共図書館への支援.....	14
《施策17》学校図書館への支援.....	14
《施策18》図書館未設置町村への支援.....	14
《施策19》図書館職員の資質向上.....	15

概要

1 趣旨

沖縄県立図書館は、図書館運営における行動計画として、令和2年度に第1次沖縄県立図書館運営方針を策定しました。

この運営方針の元、すべての県民が等しく資料や情報サービスを利用できる、県域の中心となる図書館として、市町村立図書館支援、図書館未設置町村における図書館等の設置支援及び移動図書館の開催などの取組を実施しました。利用者サービスとしては、オンライン利用者登録、座席予約システム、Web 書棚、AI 蔵書探索など DX 化を充実強化しました。

また、県民のアイデンティティーの継承発展に資する取組として「”Finding Okinawan Roots” Project(沖縄県系移民一世代ルーツ調査)¹」を行っており、これが高く評価され Library of the Year2024²大賞を受賞しました。

しかしながら、運営方針の対象期間中には、世界的なパンデミックに加え、情報化・国際化の進展など急激な社会情勢の変化がありました。このことから、第1次運営方針の基本理念を継承しつつ、新たな現状と課題を踏まえた第2次沖縄県立図書館運営方針を策定しました。

今後とも引き続き、県民の課題解決や読書活動を推進する県民に開かれた知の拠点としての役割を果たしてまいります。

2 位置づけ

文部科学省「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(平成24年文部科学省告示第172号)
沖縄県立図書館「今後の沖縄県立図書館の在り方」(平成17年度策定)
沖縄県教育委員会「新県立図書館基本計画」(平成25年度策定)

- 本運営方針は、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」第二の二の6により準用する第二の一の1の(一)に定める「基本的運営方針」とする。
- 本運営方針は、「今後の沖縄県立図書館の在り方」及び「新県立図書館基本計画」を踏まえて策定した「沖縄県立図書館運営方針(令和3年度～令和7年度)」を引き継ぐ行動計画とする。
- 策定にあたっては、「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」及び「同実施計画」、「沖縄県SDGs実施指針」、「沖縄県教育振興基本計画」、「第4次沖縄県生涯学習推進計画」、「沖縄県読書バリアフリー計画」、「第5次沖縄県子どもの読書活動推進計画」等、関連する諸計画を踏まえた。

3 期間

本運営方針の対象期間は、令和8年度から令和12年度までの5年間とする。

4 運用

この運営方針に基づき、毎年度点検及び評価を行い、これを公表する。また運営方針の内容については、必要に応じて見直しを行う。

¹ 渡航記録など沖縄県立図書館の所蔵資料等から移民一世の名前や渡航日、出身地域などを探す調査・相談(レファレンス)サービス。

² 「ライブラリー・オブ・ザ・イヤー」(Library of the Year)は、先進的な活動を行っている図書館や、それに類する知的情報資源に関わる機関・組織に対して贈られる賞で NPO 法人知的資源イニシアティブ(IRI)が毎年授与する賞。沖縄県立図書館は「Library of the Year2024 大賞」「オーディエンス賞」「優秀賞」を受賞した。(https://www.iri-net.org/)

【目標1】県民に開かれた知の拠点

【目指すべき姿】

県立図書館は、全ての県民が気軽に利用でき、県民の多様なニーズに応える「知の拠点」として、生涯学習を通じて豊かな知識と心を育む場を提供します。

【現状と課題】

- 1 令和2年～3年のコロナ禍により、休館等で入館者数及び貸出冊数は低迷。令和4年の通常運営再開により一定程度回復したが、令和6年度までの入館者数は横ばい、貸出冊数は漸減傾向。今後も読書推進イベントを継続して行い、開かれた知の拠点として役割を果たす。
- 2 国による読書バリアフリー基本計画第二期(令和7年3月)の策定を受け、令和7年10月に策定された「沖縄県読書バリアフリー計画」(沖縄県教育委員会)の実施に取り組む。
- 3 多文化エリアは、アメリカ情報コーナーに加え、上海ウィンドウ、韓国、台湾、ネパールとエリアが拡充され、関連イベントの開催を進めているが、多様な文化背景を持つ県内在住外国人のニーズに応じた支援機能の充実が課題。
- 4 来館者等に対する満足度等調査の実施により、利用者のニーズを把握し、サービスの改善を図る必要がある。
- 5 ウェブサイトや SNS など、多様な媒体を活用した情報発信の継続、内容の充実及び定期的な更新が必要である。

《施策1》県民が主体的に集い・交流・創造する「場」づくり

人と人が出会い、交流し、新しい価値を創造する県民主体の「場」として、各種イベントや研修、意見交換、調査研究等の場を提供する。

取組 1-① ホール・交流ルームを活用した学びの場の提供

生涯学習施設として県民の様々な学びの場を提供するため、行政機関等と連携し講座等を開催する。また、県内で活動する公益団体等が、県民へ施策や活動内容をPRできる場を提供する。

- ア 郷土、多文化、健康・医療、子育て等に関する各種講座の開催
- イ ビブリオバトル³、朗読会、読書会等、県民が交流するイベントの開催
- ウ 県主催事業等へのホールの貸出による各種施策等の情報発信及び生涯学習機会の提供

³ ビブリオバトル: 発表参加者が読んで面白かった本を持って集まり、順番に本を紹介した後、参加者全員でその発表に関するディスカッションを行い、どの本が一番読みたくなったかを基準にチャンプ本を決定する、本の紹介によるコミュニケーションゲーム。知的書評合戦。
(<http://www.bibliobattle.jp/home>)

取組 1-② 展示コーナーを活用した情報発信

所蔵資料を活用した展示を開催し、利用者の課題解決に役立つ資料及び情報の提供等を行う。また、県内の各機関が行う情報発信や県政への県民参加を促進する取組を支援する。

- ア 所蔵資料を活用した館内展示による資料及び情報の提供
- イ 各機関等と連携したテーマ展示による県民への普及啓発

取組 1-③ ボランティア等県民との協働

県民が生涯学習で学んだ成果等を発揮する場として、ボランティアの参画を促進するとともに、展示やイベント等を協働して行う。

《施策2》読書バリアフリーの充実

図書館利用の際に障害のある方が利用しやすい図書館の環境整備に取り組み、関係機関と連携したサービスの拡充を図る。また、障害者等に配慮したサービスの周知拡大を図る。

取組 2-① 読書バリアフリー資料の充実

デージー図書⁴、大活字本⁵、LL ブック⁶、点字資料、さわる絵本等のアクセシブルな読書バリアフリー資料を充実させる。

取組 2-② 読書バリアフリーについてのニーズ調査及び広報

関係機関と連携を図り、情報収集及び広報に取り組む。

- ア 関係機関等からサービスのニーズについて情報収集後、計画の策定とサービスの実施
- イ サービスの紹介に関する館内案内やパンフレットの作成、ウェブサイトの充実
- ウ 関係機関におけるパンフレット等の配布
- エ 来館困難者向け資料郵送サービスの周知

取組 2-③ 研修会・講演会等の開催

読書バリアフリーの充実や意識の向上を図るため、図書館職員等向けの研修会や講演会等を開催する。

- ア 点字・デージー図書等の体験会
- イ 読書支援機器⁷の活用講座
- ウ 専門家等による講義

⁴ DAISY(デージー)図書:DAISY(Digital Accessible Information System)活字による読書が困難な人々のための、国際的なデジタル録音資料制作システム〔日本図書館情報学会用語辞典編集委員会編『図書館情報学用語辞典 第4版』(丸善出版)〕DAISY 図書には、音声 DAISY 図書、テキスト DAISY 図書の他、音声と一緒に、文字や画像が表示されるマルチメディア DAISY 図書がある。

⁵ 大活字本:一般の印刷文字が小さすぎて判読できない弱視者や高齢者のために、文字を拡大した図書。

⁶ LLブック:知的障害のある人や母語を異にする人など読むことが苦手な人のために、読みやすいように工夫して作られた本
(<https://heartfulbook.jp/overview1/>)

⁷ 沖縄県立図書館にある 読書支援機器:文字を拡大して表示する「拡大読書器」、音声 DAISY などを再生するための「DAISY 再生機」等。

取組 2-④ 図書館利用に関する環境整備

図書館利用の際に障害のある方が利用しやすい図書館環境の整備に取り組む。

- ア 読書支援機器等の充実
- イ 来館困難者向け資料郵送サービスの充実

《施策3》多文化共生を支える図書館づくり

外国関係図書資料の収集・情報提供等を行い、多文化共生について理解を促進する。また、県内在住外国人による情報収集を支援する。

取組 3-① 多文化エリアのサービス充実

歴史的に関わりの深いアジア諸国の資料を中心に収集し、資料の充実を図る。また、関係機関と連携し、幅広く海外の情報を提供することで、県民に対し多文化共生について周知を図る。

- ア 海外関係資料の充実
- イ 講演会・イベントの開催

取組 3-② 県内在住外国人向けの情報提供の充実

県内在住の外国人に必要な情報を収集・提供するほか、利用しやすい図書館環境整備への取組を引き続き行う。

- ア 館内の利用案内及びウェブサイト等の多言語化
- イ 日本語学習用資料や生活に必要な情報提供の充実
- ウ 自動翻訳機等、外国人利用者向け案内ツールの活用促進

《施策4》利用者サービス満足度の向上

利用者満足度の向上等に資するため、来館者等を対象に満足度等調査を実施し、継続的な改善を通して利用者サービスの向上を図る。

取組4-① 満足度等調査の実施

来館者等に対する満足度等調査の実施により、利用者のニーズを把握し、サービスの改善を図る。

- ア 来館者、非来館者、市町村立図書館への調査実施
- イ 図書館見学等における児童・生徒へのアンケート実施

《施策5》広報、情報の継続した発信

「知の拠点」としての機能をわかりやすく、広く発信することで、県民の図書館利用の促進を図る。

取組5-① 県民に対する図書館サービスの広報

図書館サービスの情報を速やかに県民に届けるため、広報紙や SNS 等を活用する。

- ア 図書館公式SNSの更新及び YouTube アップロード

- イ 県広報誌や公式 SNS 等の活用
- ウ 地域メディアの活用(プレスリリース等)
- エ 継続したウェブサイトでの情報発信
- オ 図書館見学、バックヤードツアーの受入れ
- カ 読書の関心・意欲を高めるための取組

取組 5-② 行政機関に対する図書館サービスの広報

図書館サービスの活用を推進するため、行政機関への情報提供を行うとともに職員向け研修会での広報活動を実施する。

- ア 図書館サービスの県庁イントラネット等への掲載

取組 5-③ 各種イベントへの参加

県内開催のイベントへのブース出展等により県立図書館サービスの広報を行う。

- ア 沖縄県主催イベントへのブース出展等
- イ 関係団体および民間主催イベントへのブース出展等

【目標2】琉球・沖縄関係資料の中核的図書館

【目指すべき姿】

琉球・沖縄の文化継承・発展の中核として、県民のアイデンティティーの継承発展に資すること等を目的に、蔵書の核となる郷土資料の充実・保存・活用を図り、文化の創造に貢献します。

【現状と課題】

- 1 郷土資料を網羅的に収集しており、今後も資料の適切な保存と、継続した資料の調査・収集が必要である。
- 2 新館移転時と比較して寄贈資料の整理が進み、今後も継続的な保存・整理が必要である。
- 3 郷土資料や県系移民に関する展示や講演会を行い、県民のアイデンティティーの継承発展に今後も寄与していく。
- 4 「放送ライブラリー⁸」や「歴史的音源⁹」を視聴できる環境を整備した。引き続き視聴環境を整備する。
- 5 移民関係レファレンスについては、「沖縄県系移民渡航記録データベース」を公開。「Finding Okinawan Roots」 Project(沖縄県系移民一世ルーツ調査)が Library of the Year 2024 大賞を受賞した。引き続き移民関係資料を活用したルーツ調査等を行う。

⁸ 放送ライブラリー:公益財団法人 放送番組センターが運営する放送法に基づく、日本で唯一の放送番組専門のアーカイブ施設。学校教育や公共施設での教材・資料としての番組活用サービスを行っている。

⁹ 歴史的音源:国立国会図書館が運営するサイトで、国立国会図書館デジタルコレクションのうち、歴史的音源コレクションの資料のみを検索・再生できる。配信参加館は、自館内で著作権・著作隣接権保護期間内にある音源を含めたすべての音源を図書館利用者に提供(ストリーミング再生のみ)することができる。[<https://rekion.dl.ndl.go.jp/ja/rekion4Lib>]

《施策 6》郷土資料の網羅的収集

一般的に流通する図書や雑誌等のほか、行政資料や学校関係資料、小冊子、個人資料等の非市販資料、琉球・沖縄に係る国内外の資料について調査し、網羅的に収集する。

取組 6-① 行政資料・自費出版資料を含めた網羅的な資料の収集

出版情報等の調査に加え、出版を行う個人や市町村等へ提供依頼を行うことで、網羅的な収集を図る。

- ア 県や市町村、各種団体等に対する、発行資料の提供等の協力依頼の実施
- イ 個人出版者等に対する、寄贈や出版の情報提供に関する定期的な広報の実施

取組 6-② 貴重書の継続的な調査・収集

琉球・沖縄の文化継承の中核となる機関として、沖縄戦等で散逸した戦前及び戦後の貴重資料を積極的に収集する。

- ア 国内外における郷土資料所在情報の収集・把握
- イ 研究機関・専門家等との情報交換による、資料所在の把握
- ウ 原本資料調査及び複製資料の作成
- エ 購入・寄贈による貴重資料の継続的な収集

取組 6-③ 移民関連資料の収集・提供

県系移民関連資料の保存及びウチナーネットワークの継承、発展を図るため、県内外・国外における移民関連資料の調査・収集を行い、利用者への提供に取り組む。

- ア 移民関係資料に関する収集方針、自館資料目録の作成
- イ 県内外・国外の関係機関等における資料の所蔵状況調査の実施
- ウ 県内外・国外の関係機関、海外県人会等と連携した計画的・継続的な資料収集及び提供

取組 6-④ 視聴覚資料の調査・収集・提供

活字資料にはない情報を持つ資料として、動画資料・音声資料・画像等を収集・提供する。

- ア 視聴覚資料収集に関する指針の策定
- イ 視聴覚資料収集のための調査の実施

《施策 7》郷土資料の適切な整理・保存

収集した資料を永続的に利用できるよう整理し、引き続き保存環境を維持する。

取組 7-① 適切な保存環境の管理

IPM¹⁰(総合的有害生物管理)を用い、書庫の保存環境を維持し、資料の保存状況を良好に保つ(書庫管理)ことに加え、今後使用可能な書庫スペースを明確に把握し、受入資料を適切に収蔵する環境を整える。また、災害時等への対応にも留意しながら適切な書庫利用を図る。

- ア 適切な保存環境を維持するための継続的なモニタリングの実施

¹⁰ IPM(Integrated Pest Management):総合的有害生物管理。様々な防除対策を組み合わせ、薬剤偏重による環境への悪影響を低減すると共に、より効果的な害虫の防除を目的とする管理手法。

イ 書庫の使用状況の把握及び適正な管理

取組 7-② 寄贈資料の継続的・計画的な整理

図書館資料の円滑な提供のため、寄贈資料を継続的・計画的に整理する。

取組 7-③ 郷土資料の修復・デジタル化の実施

貴重資料及び保存用資料の劣化防止のため、劣化度調査を実施し計画的な修復を実施する。また、原資料保護のため、デジタル化を推進する。

ア 劣化度に応じた計画的修復の実施及びデジタル化

《施策 8》郷土資料にかかる情報発信

琉球・沖縄の歴史や文化の継承を目指し、郷土資料への理解を深めるための情報発信に努める。

取組 8-① 琉球・沖縄の歴史文化に関する展示の実施

琉球・沖縄の歴史や文化の継承・発展のため、所蔵資料等を活用した展示を行う。

ア 郷土フロア展示スペースを活用した郷土関連展示

イ 新収蔵資料展の実施

取組 8-② 琉球・沖縄の歴史文化に関する講座等の実施

琉球・沖縄の歴史や文化等への関心を深めることを目的とし、講座やセミナーを開催する。

ア 郷土史講座(琉球史に関係する古文書・漢文史料をテキストとする史料講読)

イ 歴史講座(琉球・沖縄の歴史・文化を学ぶ講演会)

ウ セミナー(琉球・沖縄に関する多様なテーマの講演会)

取組 8-③ デジタルアーカイブ¹¹ の充実

郷土資料の利活用の促進と原資料の破損・劣化の防止を図るため、デジタルアーカイブの充実を図る。

ア コンテンツ及び資料解説等の充実

イ デジタルアーカイブ利用促進のための広報の充実

ウ 博物館、公文書館、大学等のデジタルアーカイブ提供機関との連携

¹¹ デジタルアーカイブ：貴重資料等の画像をデジタルデータ化して保存するとともに、インターネット等を通じて提供すること。沖縄県立図書館では、「貴重資料デジタル書庫」として、平成 23 年度から公開している。

《施策 9》琉球・沖縄関係レファレンス(調査・相談)¹²機能の充実

「琉球・沖縄関係資料の中核的図書館」として、蓄積した資料を活用したレファレンス機能の充実を図り、レファレンス事例を情報共有することで、郷土への理解を促進する。

取組 9-① レファレンス事例の蓄積と活用

これまでに蓄積した琉球・沖縄の歴史や文化等に関するレファレンス事例について情報を発信する。

- ア 国立国会図書館レファレンス協同データベース¹³への事例登録
- イ 当館ウェブサイトへのパスファインダー(調べ案内)¹⁴等の掲載
- ウ レファレンス事例紹介のパネル展示

取組 9-② ルーツ調査等の実施

県系移民の歴史及びウチナーネットワークの継承、発展を図るため、ルーツ調査、移民関係展示等を実施する。

- ア オンライン受付等による随時のルーツ調査及び世界のウチナーンチュ大会や海外県人会のイベント等におけるルーツ調査の実施
- イ 世界のウチナーンチュの日にあわせた移民に関する展示等の開催

取組9-③ レファレンス対応能力の向上

琉球・沖縄に関する多種多様な課題やニーズに対応したレファレンスサービスを提供するため、職員のレファレンス対応能力を向上や、サービスの充実を図る。

- ア レファレンス対応能力向上のための職員研修等の実施及び関連講座等の積極的な受講
- イ レファレンス記録の内容更新による、精度の高いレファレンス事例の構築

¹²レファレンス(調査・相談)：何らかの情報あるいは資料を求めている図書館利用者に対して、図書館員が仲介的立場から、求められている情報あるいは資料を提供ないし提示することによって援助すること。〔日本図書館情報学会用語辞典編集委員会編「図書館情報学用語辞典 第4版」(丸善出版)〕

¹³レファレンス協同データベース：全国の図書館による調べもの事例や情報探索の手順を集めた誰もが閲覧できるデータベース。

¹⁴パスファインダー(調べ案内)：利用者に対して、特定の物事に関する調べ方を紹介・提供するもの。リストやリンク集、リーフレットなどがある。

【目標3】地域の未来を拓く図書館

【目指すべき姿】

多様化・専門化する県民の課題に対応した情報を広く収集し、県内の図書館のモデルとして新たなサービスの実施と調査研究に努めます。

【現状と課題】

- 1 健康・医療、子育てなど、県民の多様な課題に対応するため、関係機関と連携し、資料収集やイベント開催による支援に取り組んでいる。
- 2 ビジネス支援分野では、就労・起業・経営に関する研修、講座、イベントを実施し課題解決支援に取り組んでいるが、新たなニーズに応じたビジネス関連資料の収集が必要である。
- 3 多様な課題やニーズに対応するため、職員の資質向上を図るとともにレファレンス事例の蓄積と発信が必要である。
- 4 「第5次沖縄県子どもの読書活動推進計画」に沿って、読書活動を支える人材育成及び関係団体への支援を行う。
- 5 矯正教育の一助として、矯正施設入所者への読書支援及び社会貢献活動の受入れを継続する。

《施策 10》ライフステージに応じた課題解決サポートの充実

健康・医療、子育て等ライフステージに応じた課題解決サポートの充実を図る。

取組 10-① 健康・医療、子育て等、課題解決サポートの充実

健康・医療、子育て等を中心に関係機関との連携による情報提供や、イベント等の開催により、県民のライフステージに応じた課題解決を支援する。

- ア 健康・医療、子育て関連資料の収集
- イ 健康・医療、子育て支援、各コーナーの周知及び関連展示やイベントの開催
- ウ パスファインダー(調べ案内)・ブックリストの提供
- エ 関連機関等が発行するパンフレット・チラシ等の提供

《施策 11》ビジネス支援の推進

ビジネス支援に資する資料の充実を図るとともに、関係機関と連携してビジネスルーム等で開催する各種イベント等を通じてスキルアップ、キャリア形成を図るなど、ビジネス支援を推進する。

取組 11-① 就労、起業、経営に関する資料の収集

本県の特徴や実情に即したビジネス関連の図書、雑誌、業界新聞、参考図書等を重点的に収集する。

- ア 関連機関との連携等によるニーズの把握及び資料収集
- イ 県内企業や産業団体等の刊行物の収集

取組 11-② 関連機関等と連携した相談会、セミナー、講座等の開催

関係機関と連携してビジネスルーム等を活用した各種講座、相談会等を開催するとともに、ビジネス関連データベースの利用を促進し、県民のビジネスに関するスキルアップ、キャリア形成、起業等の支援を行う。

- ア ビジネス関連イベント・講座の開催
- イ ビジネス関連データベース等(市場情報、法令、官報等)の利用促進
- ウ パスファインダー(調べ方案内)・ブックリストの充実

《施策 12》レファレンス(調査・相談)(一般・子ども向け)機能の充実

レファレンスサービスの周知を図る取組と、県民が気軽に利用することができるような環境を提供し、県民の課題解決を支援する。

取組 12-① レファレンス対応能力の向上

県民の多種多様な課題やニーズに対応したレファレンスサービスを提供するため、職員のレファレンス対応能力の向上やサービス内容の充実を図る。

- ア レファレンス対応能力向上のための職員研修等の実施及び関連講座等の積極的な受講

取組 12-② レファレンス事例の蓄積と活用

これまでに蓄積したレファレンス事例について情報を発信し、県民の課題解決を支援する。

- ア 国立国会図書館レファレンス協同データベースへの事例登録
- イ 当館ウェブサイトへのパスファインダー(調べ方案内)等の掲載
- ウ レファレンス事例紹介のパネル展示

《施策 13》子どもの読書活動の推進

令和6年3月に策定された「第5次沖縄県子どもの読書活動推進計画」(沖縄県教育委員会)に基づき、各市町村立図書館や読書活動推進団体等への支援や連携をとおして、児童生徒の読書活動を推進する。

取組13-① 子どもの読書活動推進に資する研修等の開催

子どもの読書活動を推進する個人や団体に対する研修等を開催し、その活動への支援や人材育成に努める。

- ア 沖縄県子ども読書指導員¹⁵等を活用した、よみ聞かせボランティア等のスキルアップ研修

¹⁵ 沖縄県子ども読書指導員:地域・学校等の読書活動ボランティアに対する指導助言等、読書活動推進におけるリーダーとして活動できるよう沖縄県教育委員会が養成した指導員。

取組13-② 読書活動推進団体等の支援と連携

子どもの読書活動推進研究室資料の充実を図るとともに、子どもの読書に関わる各種団体、保護者、教職員、保育者、学生、研究者等の活動を支援する。

- ア 子どもの読書活動推進研究室の活用促進と資料の充実
- イ 「こどもの読書週間」及び「読書週間」の取組の充実
- ウ 学校図書館支援コーナー、子どもの読書活動支援コーナーなど読書推進に資する情報の充実

取組 13-③ 子どもの読書活動推進に資する図書の実充及び展示会・イベント等の開催

子どもの想像力を育む展示・イベント等を開催する。また、読書離れの進む中高生等の読書活動推進に寄与するティーンズコーナーの実充を図る。

- ア おはなし会等イベント及び展示の実充
- イ ティーンズコーナーの資料実充及び展示・イベントの開催
- ウ 毎月第3日曜日「ファミリー読書の日」推進

《施策 14》行政機関、各種団体等の連携

行政機関等の政策立案や課題解決に資する行政支援に取り組み、県民への行政サービスの質の向上に寄与する。矯正施設¹⁶、児童養護施設等と連携し、読書支援等を実施する。関連・類縁機関¹⁷等と連携した講座や企画展示等を開催し、ネットワークの強化を図る。

取組 14-① 行政機関への支援

行政機関と連携し、イベントや展示等を開催するとともに行政機関に対するレファレンスサービスの実充を図る。

- ア 行政機関と連携した施策関連展示
- イ 行政機関に対するレファレンスサービスの実充
- ウ 行政レファレンス事例等の紹介

取組 14-② 矯正施設、児童養護施設等への支援

矯正施設からのレファレンス対応、児童養護施設等への読書支援を実施するとともに、社会貢献活動の受入れを行う。

- ア 矯正施設からのレファレンス対応、一括貸出
- イ 児童養護施設等への一括貸出
- ウ 少年院に対するビブリオバトル等読書推進活動の支援、社会貢献活動の受入れ

¹⁶ 矯正施設：犯罪を行った人や非行のある少年を収容し、その改善更生を促し、円滑な社会復帰を目指すための処遇や教育を行う施設。刑務所、少年刑務所、拘留所、少年院、少年鑑別所の総称。https://www.moj.go.jp/kyousei1/kyousei08_00144.html

¹⁷ 類縁機関：図書・雑誌等を所蔵し、公開している図書館以外の機関。

取組 14-③ 各種団体と連携した展示、イベントの開催

関連・類縁機関等と連携して文化事業等を開催するとともに、ネットワークの強化を図る。

ア 関連・類縁機関(県内大学、博物館、美術館、公文書館等)と連携した事業等の開催

イ 沖縄県図書館協会、沖縄県公共図書館連絡協議会、沖縄県読書推進運動協議会と連携したイベント、展示の開催

【目標4】 県域の中心となる広域型図書館

【目指すべき姿】

すべての県民に等しく読書環境を提供するため市町村立図書館及び図書館未設置町村を支援するとともに、県全域の図書館サービスの向上に寄与します。

【現状と課題】

- 1 すべての県民が等しく資料や情報サービスを利用できる「広域型図書館」として、オンライン利用者登録を開始するなど、非来館サービスの提供を行っており、さらに拡充する必要がある。
- 2 市町村立図書館の運営に関する相談ニーズが高まっており、引き続き、支援と助言を行う必要がある。
- 3 「第4次沖縄県生涯学習推進計画」に沿って、支援を必要とする学校図書館の求めに応じ、子ども読書活動や学習活動を推進する観点から積極的に支援を行う。
- 4 図書館未設置率が依然として高い状況にあるため、図書館未設置町村に対し、図書館や公民館図書室等、図書館機能の立ち上げ支援として、移動図書館、一括貸出¹⁸、協力貸出¹⁹などのサービスを継続する必要がある。
- 5 県民の多様な情報ニーズに対応するため、県全体の図書館職員の専門性向上を図る必要がある。

《施策 15》遠隔利用サービスの充実

県立図書館資料の県内全域での利用促進のため、遠隔利用サービスの充実を図る。

取組 15-① 遠隔利用(非来館)サービスの推進

遠隔地貸出²⁰・返却²¹サービスが利用できる地域を順次拡大するとともに、オンライン利用者登録²²及び電子書籍の利用促進を図り、遠隔利用サービスを推進する。

¹⁸ 一括貸出:読書推進を目的とした団体に最大 500 冊を半年(北部・離島は 1 年)貸出するサービス。

¹⁹ 協力貸出:離島の市町村立図書館、図書館未設置町村の教育委員会等を窓口にして県立図書館の資料を個人に貸出するサービス。

²⁰ 遠隔地貸出:県立図書館の資料を、市町村立図書館等を通じて貸出するサービス。

²¹ 遠隔地返却:県立図書館の資料を、市町村立図書館等で返却できるサービス。

²² オンライン利用者登録:県立図書館に来館せずに利用者登録を行うことができるサービス。

- ア 県立図書館資料の遠隔地貸出・返却サービスの拡充
- イ オンライン利用者登録の推進
- ウ 電子書籍の利用促進

《施策 16》県内公共図書館への支援

県内公共図書館の相互貸借²³等を支援するとともに、連携及び情報提供を行う。

取組16-① 県内公共図書館への支援

当館が運営する図書配送システムにより、県内公共図書館の相互貸借を支援するとともに、定期的な訪問等を通じて運営支援・相談を実施する。

- ア 相互貸借に係る資料配送の支援
- イ 離島図書館への配送支援(送料負担)
- ウ 市町村立図書館等へ展示パネル等の貸出
- エ 市町村立図書館への運営支援・相談、定期的な訪問及び調査困難なレファレンスへの回答

取組 16-② 県内公共図書館との連携及び情報提供

沖縄県図書館ポータル²⁴の運営等により情報共有を支援する。

- ア 市町村立図書館への図書館運営に関する情報の提供
- イ 災害発生時の市町村立図書館等の被害状況等収集及び情報発信
- ウ 沖縄県公共図書館連絡協議会との連携による情報提供

《施策 17》学校図書館への支援

学校図書館の運営を支援するため、学校司書、司書教諭等研修会の実施や、校長、教頭等学校関係者への情報提供及び情報交換を実施する。

取組 17-① 学校図書館への支援

学校司書や司書教諭等の研修を実施するとともに、小、中、高等学校、特別支援学校からの求めに応じて、情報提供を行う。

- ア 学校司書等への研修会の実施等
- イ 学校関係者との情報交換及び支援・助言

《施策 18》図書館未設置町村への支援

図書館未設置町村の教育委員会等と連携し、当該地区の読書環境を改善するとともに、図書館機能の立ち上げを支援する。

²³ 相互貸借:図書館システム相互の間で資料の貸借を行うこと。図書館が利用者の求める資料を自館に所蔵しておらず、購入できなかったり、その図書館の収集方針に適さないときに資料を他館から借り受けたり、資料の複製の提供を受けたりして利用者に提供すること。〔図書館用語辞典編集委員会『最新 図書館用語大辞典 』(柏書房株式会社)〕

²⁴ 沖縄県図書館ポータル:県内の公共図書館等の情報共有のため、沖縄県立図書館が設置・運営している関係者専用の Web サイト。

取組18-① 移動(空とぶ)図書館、一括貸出、協力貸出の実施

図書館未設置町村等に対し、移動(空とぶ)図書館、一括貸出、協力貸出を実施する。

- ア 移動(空とぶ)図書館の開催(関係機関等との連携を推進)
- イ 一括貸出(セット貸出含む)の実施、活用の推進
- ウ 協力貸出の実施
- エ 広域サービス(移動図書館、一括貸出等)用資料の充実
- オ 離島用電子書籍の充実及び利用促進

取組 18-② 関係町村との連携協力・情報提供の強化

図書館未設置町村に対し、情報提供等を行い、図書館機能の立ち上げを支援する。

- ア 図書館機能を有する拠点施設の設置に向けた協力、助言
- イ 沖縄県公共図書館連絡協議会等と連携した情報提供

《施策 19》図書館職員の資質向上

県内図書館職員の資質・能力向上を図る上で必要な研修の機会を提供する。また、県立図書館職員には、高い専門性が必要となるため、専門職員としての司書職等の計画的かつ継続的な確保を行うとともに、各種研修会や研究会等への参加促進等により、資質の向上を図る。

取組19-① 県内図書館職員を対象とした研修の実施

県内図書館職員の資質・能力向上を図る上で必要な研修の機会を提供する。

- ア 公立図書館職員研修の実施
- イ 沖縄県公共図書館連絡協議会、沖縄県図書館協会と連携・協力した研修機会の提供

取組 19-② 県立図書館職員の専門性の向上及び計画的な専門職員の確保

県域の中心となる図書館としての役割を果たすため、県立図書館職員の資質向上及び専門職員の確保を図る。

- ア 司書等専門職員の計画的かつ継続的な確保
- イ 各種研修会や研究会等への積極的な参加